



# 東 俣 野 12月号

東俣野小学校 学校だより 平成29年11月30日

## 寒さに負けず

校長 村田 幹男

朝、門の近くで子どもたちを出迎えています。みんな元気に登校していますが、最近、上着やズボンのポケットに両手を入れながら歩いてくる子が増えてきました。

「はい、ポケットから手を出して。転ぶと危ないよ。」と私。

「えー、だって手が冷たいんだもん。」と、Aさん。

そのやりとりを聞きながら、温かそうな手袋を見せて私たちの横を通り過ぎる子どももいます。



あれ、高学年のBさんも手はポケットの中。でも、Bさんは私と目が合った瞬間、サッと手を出しました。「寒いけど、ポケットから手を出そうね。」そう言われるの、分かっていたのでしょね。

そろそろ、手袋が活躍する頃となりました。寒くなるとついポケットに手を入れたいくなります。上着を着るようになるとポケットが付いているので、手を入れやすいことも一因です。でも、それはとても危ないのです。何かにつまずいたときに、とっさに手を出せず、思い切り地面に顔をぶつけてしまうことがあるからです。そして、せっかく生えた大切な大切な前歯（永久歯）を折ってしまうことにもなるのです。歯だけではありません。頭は大切な部分です。けがをしては困ります。子どもたちには、なぜいけないのかを、各学年の発達状況に応じて指導していきます。

これから寒さが本格的になります。手首・足首・首を温かくすると体が温かくなります。手袋・レッグウォーマー・マフラーなどを上手に利用して出かけましょう。フード付きの上着は今多く着用されていますが、フードを被っての歩行は、視界が狭く、音も聞き取りにくくなるので、安全面において子どもは基本的にはフードは被らない方がいいと考えます。子どもたちにも呼びかけていきます。

そして何より、寒さに負けないじょうぶな体づくりをすることが大切です。休み時間には、寒さに負けず、外で元気に遊ぶ子に育てていきます。